

プレゼミナールの進め方

1. テキスト

必要に応じて、プリントを配付。教科書として、特に購入する必要はなし。

2. 注意事項

- ・キャリア形成論の前半3回分とプレゼミナールの7回分、合計10回分を04月11日の第1週目から06月20日の第10週目までの間に、まとめて実施するので、スケジュールには十分注意してください。
- ・その他に、図書館ガイダンス用動画と資料が既に学生ポータルサイト（図書館）にアップされているので、キャリア形成論の3回分のどれかの中で、各自で視聴してください。また、辻原からも関連する資料を提供する予定であるので、それらも各自で確認してください。

【配付物】「図書館利用方法とインターネットの利用」に関する資料を配付

3. スケジュールと課題

04月11日 1週目（プレゼミナール第1回目）

履修登録の確認、今後のスケジュールの説明、これからの学生生活に期待すること

【この日の授業のための準備】

- ・特に準備は必要ありません。

04月18日 2週目（プレゼミナール第2回目）

履修登録の確認・追加、大学で学ぶことの意味、大学と実社会

①大学では、どんなことを身につけたいか？／社会に出たときにどんな「力」を身につけておく
とよいと思うか？→そのためには、どんなことをしておけばよいか？

②10年後、20年後、30年後の自分の姿を考えてみよう。

【この日の授業のための準備】

- ・①と②について事前に少し考えておきましょう。

【配付物】「将来の進路（行き先）」に関する情報を配付

04月25日 3週目（プレゼミナール第3回目）

2週間の講義を受けて困ったこと、大学で学ぶことの意味、大学の授業スタイル

- ① 2週間の大学生活を振り返って困ったこと、どうしたらよいのかよくわからないこと、相談したいことなどはないか？
- ② 大学の学修と高校までの学習の内容や方法、授業のスタイルの違いを考えてみよう
→ 高校までの学習内容や授業スタイルはどのようなものであったか？
→ 大学での学修内容や授業スタイルはどのようなものか？（どのようなものと想像されるか？）
- ③ 大学でのノートの取り方を考えてみよう。

【この日の授業のための準備】

- ・ 自分のノートをいくつか持ってこよう。

【配付物】「ノートの取り方、講義を受けるために」と「テーマの選び方」に関する資料を配付

05月09日 4週目（プレゼミナール第4回目）

4月を振り返って、学修テーマの決定

- ① 4月の学生生活を振り返ってみよう
→ 得られたものは？得られそうなものは？（反省だけではなく）
- ② これから1ヶ月半の間でレポート作成に取り組もうとする学修テーマ候補から、実際に取り組む学修テーマを決定する。→学修テーマに沿って各自でレポートを作成してみましょう。
目標：感想文（自分が思ったことを述べる）からレポート（相手が納得できるように説明する、「なぜ」を説明する）へ

【この日の授業のための準備】

- ・ 先週配付した学修テーマの選び方に関する資料を参考にして、最低3つは自分で取り組んでみたいと思うテーマ候補を考える。
- ・ それぞれのテーマ候補について、どうして（なぜ）そのようなテーマ候補を選んだのか、も1人5分程度の持ち時間で発表（説明）する。
- ・ A4版1～2枚程度の配付資料を、各自で6部（学生5人+辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】「レポートの書き方」に関する資料を配付

05月16日 5週目（キャリア形成論第1回目）

キャリア形成論の動画を各自で視聴（1週目相当分）／レポートの作成中間報告へ向けての準備

05月23日 6週目（プレゼミナール第5回目）

レポート作成中間報告

①05月09日に決めた学修テーマでは、具体的にどんなことをどんな方法で調べて内容を深めていくのか、を1人10分程度の持ち時間で発表（説明）しよう。

【この日の授業のための準備】

- ・学修テーマに沿って、少しでもよいので、実際に調べ始め、その内容もあわせて発表する。
- ・どんな章立てにしてレポートを作成するのか、どこで（何で）調べるのか、を考える。その際、できるだけインターネットのホームページは使用しない。
- ・A4版1～2枚程度の配付資料を、各自で**6部**（学生5人＋辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】「プレゼンテーションの方法」に関する資料を配付

05月30日 7週目（キャリア形成論第2回目）

キャリア形成論の動画を各自で視聴（2週目相当分）／レポート「案」の提出へ向けての準備

06月06日 8週目（プレゼミナール第6回目）

レポート「案」の提出

①レポートの第一案をもとに、1人10分程度の持ち時間で内容を説明しよう。

【この日の授業のための準備】

- ・05月09日に配付されたレポートの書き方に関する資料を参考にして、レポートの第一案を作成する。
- ・レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。
- ・レポートの第一案の枚数や形式は、特に指定はしない。各自で自由に決める。
- ・発表の際には、レポート第一案を、各自で**6部**（学生5人＋辻原1部）ずつ準備して配布する。

【配付物】特になし

06月13日 9週目（キャリア形成論第3回目）

キャリア形成論の動画を各自で視聴（3週目相当分）／レポートの提出・発表へ向けての準備

06月20日 10週目（プレゼミナール第7回目・最終回）

レポートの提出と発表

- ①レポートの内容を1人10分程度の持ち時間で発表しよう。
- ②発表では、できればパワーポイントなどのソフトも使ってみよう。

【この日の授業のための準備】

- ・06月06日に出された意見や助言を参考にして、最終レポートを作成する。レポートはできるだけワープロで作成の方が望ましい。枚数や形式などは、特に指定はしない。各自で自由に決める。

→最終レポートの本体は、辻原のみに提出すればよい。

- ・05月23日に配布されたプレゼンテーションに関する資料を参考にして、発表を準備する。
- ・発表の際には、レポート本体とは別に発表用配付資料（A4版1～2枚程度）を、各自で6部（学生5人+辻原1部）ずつ準備して配布する。

→対面授業であれば、学生にも採点表を配布し、採点してもらう。

【配付物】特になし

3. 参考図書（順に、書名、編著者名、発行所、発行年月、本体価格、ISBN番号、熊本県立大学学術情報メディアセンター図書館所蔵情報（[]内。））

[1]『**大学生入門 3訂版**』（高橋三郎・新田光子，世界思想社，2009年3月，1,300円＋税，ISBN：978-4-7907-1394-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000323285〕

→初版（2001年6月，ISBN：978-4-7907-0881-0）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000249269〕，
改訂版（2006年2月，ISBN：978-4-7907-1167-4）〔書庫（4F），377.9||Ta 33, 0000300324〕
もあり。

※以下の参考図書でもよいかもしれない。

・『**大学生 学びのハンドブック 勉強法がよくわかる！ 5訂版**』（世界思想社編集部編，世界思想社，2021年2月，1,200円＋税，ISBN：978-4-7907-1749-2）〔就活・レポート（1F），377.15||Se 22, 0000390348〕

→4訂版などもあり（2018年1月，ISBN：978-4-7907-1707-2）〔和書（2F），377.15||Se 22, 0000378893〕

・『**大学新入生ハンドブック**』（世界思想社編集部編，世界思想社，2014年11月，520円＋税，ISBN：978-4-7907-1641-9）〔和書（2F），377.9||Se 22, 0000364024〕

[2]『**スタディスキルズ・トレーニング 改訂版 大学で学ぶための25のスキル**』（吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠，実教出版，2017年10月，1,200円＋税，ISBN：978-4-407-34061-7）〔就活・レポート（1F），377.15||Y 87, 0000379748〕

→初版（2011年6月，ISBN：978-4-407-32243-9）〔和書（2F），377.15||Y 87，0000342518〕

[3]『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門 第3版』（佐藤望編著，湯川武・横山千晶・近藤明彦，慶應義塾大学出版会，2020年2月，1,000円＋税，ISBN：978-4-7664-2656-4）〔就活・レポート（1F），377.15||Sa 85，0000386409〕

→初版（2006年10月，ISBN：4-7664-1324-5）〔和書（2F），377.15||Sa 85，0000304262〕
もあり。

→第2版（2012年9月，ISBN：978-4-7664-1960-3）〔和書（2F），377.15||Sa 85，0000352556〕
もあり。

[4]『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』（北尾謙治ほか，ひつじ書房，2005年5月，1,600円＋税，ISBN：4-89476-242-0）〔和書（2F），377.15||Ki 71，0000293704〕

4. 担当者

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角

電話：096-383-2929（内線492），096-321-6706（直通）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

※何かわからないことがあれば，e-mail，Microsoft Teams の投稿機能やチャット機能で質問してください。

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線482（助手室）／内線475（田中研究室））

e-mail：okamototkm@pu-kumamoto.ac.jp